

見える化の効果は抜群です。

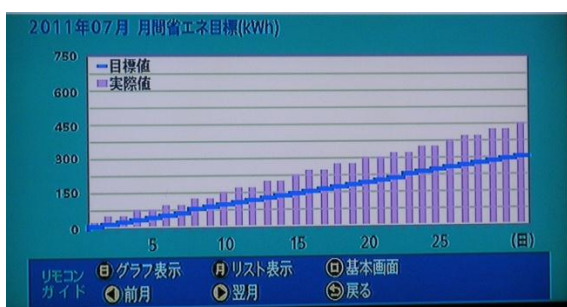
電気の使用量が、見える化によって判るようになると、家庭の主婦や子どもさん、学生さんも大変興味が湧いてきて、省エネが面白いように進みます。毎月の電気代も節約できますので楽しみにになります。節電効果抜群！です。

見える化の方法（ツール）は色々あります。行政の支援もあります。

①ソーラパネル付帯機器

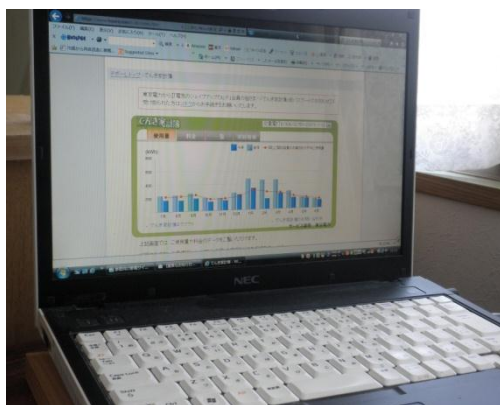
これは既にソーラパネルを設置されている皆さんが実施されていますので、素晴らしいことです。

（参考）S氏宅の事例（過去の推移、本日の今の状況なども判ります）



②省エネナビ等の家庭のエネルギー管理機器(HEMS とも言わます)

（参考）T氏宅の事例(月別の推移、日内推移も判ります。前年比25%節減)



行政の支援

①住宅用太陽光発電システム設置：市も補助制度を行っています。（本年度は終了。）

②HEMS：平成24年4月から経済産業省の補助事業が始まりました。

委託先：一般社団法人環境共生イニシアチブ <http://sii.or.jp/> : NTT 電信電話会社 16社41機種を対象です。限度額は10万円です。NTTの機種は、限度額の範囲です。

（注）HEMSとはHome Energy Management Systemの略語で、家庭のエネルギー管理システムのことです。